

平成26年度活動方針について（会長）

26年度も三ヶ月が経過し、各支部は会の魅力化のため、方針で示しました①会活動の活性化 ②会基盤の充実 ③会員の福祉と親睦事業、を既に実行し、また具体化に向けて々と準備を進めておられることと思います。

①は、公益目的事業の推進であり、青少年健全育成・公園慰霊碑等の清掃・慰霊祭への参加・地域行事への参加が具体例です。各支部はこれを重視して、会員の人生の充実・生甲斐とし魅力化に努めて頂きたいと思います。

②は、県として本部方針に基づき具体化を進めており、9月支部長会議で報告します。

③は魅力化の大きな柱の一つであります。特に会員の福祉に関して、総会等支部会員の集まる場で、起業している会員や会員の恩恵に関わる仕事に携わっている会員にPRする機会を与え、相互の福祉の増進を図って戴きたいと思います。「光陰矢のごとし」我々は、危険を顧みず国に奉公してきました。これからも世のため人のため尽し、充実した人生

平成26年度 事業計画（概要）

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動並びに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進する。

このため、公益目的事業の定着充実化により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の推進により会基盤の充実を図り、併せて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。

(1) 総務・組織

ア 会勢の充実・拡大

(ア) 会員の増勢

退職予定者に即日入会依頼
未加入OBの掘り起こし

(イ) 会員名簿の整理

(ウ) 家族会員の増勢

各支部家族会員加入率

100%目標

(エ) 予備自部会・女性部会と連携

両部会結成に伴う充実強化
及びその活動を積極的に支援
有力リクルーとしての役割担当

(オ) 特別会員の増勢

(カ) 会員の定着率向上

イ 組織の改編・強化

(ア) 新支部等の結成促進

未結成等地域で新支部等
の組織立ち上げ等の支援

(イ) 役員後継者の育成・登用

曹友会等で活躍した人材発掘

ウ 会務運営の効率化

IT化の推進

(ア) 当会のPC、周辺機器更新

(2) 市民・防衛・広報

ア 防衛意識の高揚

安全保障フォーラム（9. 23）を開催
軽易な防衛講話・セミナーを計画・実施

イ 自衛隊及び地方公共団体の防災等施策への協力

(ア) 隊友会自衛情報ネットワークの維持・拡充

a 隊友会自衛情報ネットワーク協力者との密接な連携

b 12普連への大災害時の迅速な災害情報提供

(イ) 大規模災害時等の自治体との協力協定

協力協定未締結自治体との協力協定を締結

(ウ) 大規模災害時の協力者ネットワークの構築の推進

防災ボランティアチームを平素から組織し、要請に伴い
第一陣を迅速に派遣できるよう活動マニュアルを整備

(エ) 自治体等の行う総合防災訓練等への参加

(オ) ボランティア人材バンク組織の維持・拡充

a ボランティア人材バンク登録者名簿を整備

b 新規入会員の調査を実施して同組織の維持拡充

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

自衛隊で培った能力・経験及び組織力の活用

(ア) 県内公益目的事業の推進

慰霊碑等の清掃、各種慰霊祭への参加等

(イ) 「東日本大震災復興お助け隊」への参加

自衛隊OB登録者766人（内、鹿児島出身者59人）

エ 九州・沖縄ブロック研修会の参加

長崎県隊友会が担任する研修会に参加

(4) 財務・事務局・監事

ア 財務強化の会費徴収厳正化

イ 特別積立金の維持

ウ 年度事業等に基づく予算の執行

エ 収益事業等

販売広報を積極的に実施

(ア) 天の輝き「隊友」は、福岡・熊本県

を重点に販売の拡大

(イ) 相互扶助事業等は、情報の獲得

(ウ) 広告紙頒布依頼企業の開拓

(エ) 「隊友さつま」への広告協賛企業を

各支部等に拡大

オ 役員交替の先行的・計画的準備

鹿児島県隊友会定期総会



防衛講話を実施する第12普通科連隊長 若松1陸佐

総会盛大に開

平成26年度県隊友会総会

鹿児島県隊友会は、5月25日（日）ジェイドガーデンパレスにおいて平成26年度定期総会を実施した。総会は、国歌斉唱、物故会員に対する

黙祷に始まり、会長挨拶、表彰、来賓祝辞、議事等が整齊と進行した。会長挨拶においては、会勢拡大について各自衛隊の協力が得られるよう

に設置できたことの紹介

平成25年度事業報告等

隊友会歌を斉唱し総会は無事に終了した。

予定という。その内容は、陸上総隊の新設で、5個方面隊の一元化、また

いた。非常に重要な事項で、また大変頼り

理事役 春田博明

退官前の隊員に対して、各自衛隊の基地等において指定された会員が、面談、勧誘を行えるようになったこと、また、念願であった県隊友会事務所

が、個人会員15人、地域貢献賞として鹿児島地区協議会、感謝状が鹿児島地本援護課に授与され

た。併せて、新支部としていちき串木野及び指宿支部の紹介があった。

及び役員の交代等が円滑に議決された。最後は、隊友会歌を斉唱し総会は無事に終了した。

多くの出席者を前に挨拶する川畑会長

その後、第12普通科連隊長に

地域師団、機動展開師団及び水陸機動団等の機能別部隊を設置する。併せて、戦力空白地域である南西諸島（奄美大島地区）への部隊配置等について

の講話であり、非常に興味のある事項で参加者全員が熱心に聞き入っていた。

最後に、懇親会となり

ご来賓の中で自衛隊を代表して園田第1航空群司令、国会議員で衆議院の保岡先生、小里先生、参議院の尾辻先生及び前田霧島市長が、「隊友会には自衛官時の経験を災害等非常時に発揮してもらいたいし、また大変頼り

になる。」等の祝辞があった。

その後深谷鹿児島地本の乾杯に引き続き、ご来賓、会員等がそれぞれ懇親の輪を広げ大盛会のうちに終了となった。

記



◆発行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
川畑初夫
◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

帰線

市民の大歓声の中、国道3号線を戦車が走行する市中パレードと、最新のカメラレコーダー初号機が配備される陸・空の郷土部隊は、弊支部の誇りであり、活動の根源である。▼周辺諸国の軍事的挑発行為等の脅威下、南西地域における「実効的な警戒・抑止及び対処のための不可欠な部隊」であり、①荒閑大輔司令以下、川内駐屯地は、昭和60年3月市民の願いが叶い、第8施設大隊を主力として駐屯地が開設されて以来29年目を迎えた。また、鈴木一司令以下、下飯島分屯基地は、昭和33年5月米空軍からの移管に伴い本格運用されて以来平成20年3月からは最新のJ/F-22 S-15による365日24時間防空体制の要であり、各種防災訓練・近傍災害派遣及び地元行事の担い手として一体感・強固となり、「安心・安全の砦」として市民に愛され頼りにされている。▼市民誇りの部隊である。弊支部会員一同、その役割の重要性を肝に銘じて「活躍の実態を、市民に知らしめる地道な活動を支援・協力の他、川内河川クリン作戦への積極的な参加、②大規模災害発生時における自治体と協力協定を当面の目標として頑張っている。所蔵

薩摩川内支部長
川原道治
記

編集長に上番し

平成24年7月末日をもって、鹿児島地本を最後に自衛隊を退職。約3ヶ月ほど経ったある日、知人OBからの依頼により県隊友会の総務理事を引き受けた。



編集長 春田博明

だてられたり、とうとう引き受けることにした。引き受けたとはいえず、新聞は読むのは好きでしたが、実際に作成したこともなく少しづつ不安になってきた。そんな時に会長以下副会長、前任の玉井さん達でもって編集会議を開催し、玉井さんから新聞作成の要領、特にポイント等を教えて頂くとともに会長から編集組織案及び作成大綱（指針）を頂き、何とかやってみようと思いついた。決まったからには、何でも迅速にやろうと思いいい安価な印刷屋の選定、新

国旗を揚げよう

鹿児島中央支部 岩切康



祝日に国旗を揚げていると、拙宅の前の道を通り掛った低学年と思われる男子の小学生2・3人の一人が「おじさん、おじさんの家だけ何故旗を揚げているんですか」と訊ねられた事がある。

「今日は国民のみんなでお祝いしよう」と国の法律で決められた日だから、それに日本の国旗はね薩摩藩の島津斉彬と云う殿様が薩摩藩の軍艦に初めて掲げたんだよ」等と教えてやったら、一応納得したような顔をしていった。以前、ある中学校の歴史教育で一日の丸の赤は血の色で、白は骨の色を表している家族軍主義の旗だ」と教えた教師が居たとか、全くもつとて呆れるばかり。国旗隊友会の使命の中に①防衛意識の普及、②地域社会の健全な発展等が謳われているが、先ず身近な事から

特攻碑慰霊祭に参席

桜の花も散り初めし4月13日 南さつま市名にしおう萬世、「よろずよに」の碑の下で第四十三回慰霊祭が賛同者400人参加して行われた。隊友会からは、地元支部会員及び県内各地歴々の諸賢総勢30余人が列



献花中の南さつま支部長(左)

の裡、雄渾として南海に散華された201柱の英霊に崇高なる顕彰の誠を捧げた。この地は、大東亜戦争末期、米軍の我が国本土への上陸予定地と想定、反撃必勝を期した陸軍最後の基地として建設された。白砂青松の景勝地、砂地に赤土を覆い被せただけの単純急造の滑走路海岸沿いで離着陸は容易なように難しなく不時着もあつたかに聞く。英霊は、勇ましくも、肉親との惜別の情耐えがたきものがあつた。飛び

家族作文 自衛隊に入隊して

自衛隊に入隊してから2年が過ぎました。仕事にはだいぶ慣れ始め、後輩も新しく入り日々の業務指導をしたりと、とても充実した毎日を送っています。私は、そんな自衛隊生活の中で学んだ事が大きく3つあります。

一つ目は、目上の方への礼儀です。自衛隊は階級によつて立場がはっきりと分かれているので、しっかりと分かって礼儀を教えるのには一苦労です。私は、礼儀について部活動等である程度知

「プラス1山歩き」 国分支部の宮ノ原支部長以下65人は、5月31日年度行事である「プラス1山歩き等」を実施した。この「プラス1山歩き等」とは、約15年前、当時参加している趣味等の他に新しいことに一つ以上挑戦しようという事で始まった。



最高の山歩きを楽しみ満足そうな参加者達

晴れの受賞

おめでとうございます

◎叙勲受賞

(春の叙勲)

★瑞宝双光章 (危険業務)

◆大崎 (陸)

◆曾於 (海)

◆薩摩川内 (空)

◆古川千八郎 殿

◆さつま (陸)

◆堀之内勝巳 殿

◆鹿地協 (陸)

◆宮路 正人 殿

◆山口 貴志 殿

★瑞宝単光章 (危険業務)

◆大崎 (陸)

◆倉ヶ崎敏治 殿

◆さつま (空)

◆末吉 栄作 殿

◆さつま (陸)

◆堅山 成人 殿

◆国分 (陸)

◎県隊友会長表彰

★個人

◆鹿児島地区協

◆久永 薩男 殿

◆宮路 正人 殿

◆国分支部

◆重田 勝也 殿

◆恒吉 敏彦 殿

◆久保 正剛 殿

◆崎山 修一 殿

◆梅北 孝正 殿

◆坂元 孝正 殿

◆薩摩川内支部

◆堀田 俊朗 殿

◆岩下 博海 殿

◆隼人支部

◆山内 喜男 殿

◆松永 富蔵 殿

◆始良支部

◆限元 文範 殿

◆川辺 清人 殿

◆金峰支部

◆梅木 重美 殿

★地域貢献賞

◆鹿児島地区協

◆森園 正己 殿

◎予備自衛官退官者

○霧島市

◆内 義男 殿

◆大坪 耕二 殿

◆古川 初男 殿

◆久保 康博 殿

◆谷口 文雄 殿

◆飯野 忍人 殿

◆松岡 吉人 殿

◆横峯 泉男 殿

◆石井 忠男 殿

◆平 正一郎 殿

◆田之上 秀美 殿

○鹿児島市

◆本君田 忍 殿

◆大園 操 殿

○薩摩川内市

◆吉村 利昭 殿

○いちき串木野市

◆田淵 明 殿

○南さつま市

◆梅木 重美 殿

○始良市

◆嶺山 浩三 殿

○指宿市

◆諸留 孝一 殿

○伊佐市

◆庄屋 秀敏 殿

○西之表市

◆伊集院支部 東会員の孫娘さん

伊集院支部 東会員の孫娘さん

支部紹介

旧大口市と旧菱刈町が合併し「伊佐市」が誕生して6年になります。隊友会は、発足時から両市の会員が「伊佐支部」を結成して現在に至っています。会員は34人、(50代3人、60代15人、70代14人、80代2人)平均年齢68.4歳の高齢化進行中の中小支部です。事業は、総会、新年会

忘年会の他土曜定例会を隔月に実施して県総会、支部長、理事役等会議の要旨伝達、意見交換、近況報告等を兼ねて「飲ん方」をしながら会員の融和と意思の疎通を図っています。公益法人化に伴い、一支部一奉仕事業が言われていますが、我が支部は平成八年四月、市の運動公園に展示されたT33Aジェット練習機の清掃及び周辺の草刈り等整備を、翌平成九年から毎年市の体育祭前に実施して

おり完全に定着化し市の広報誌にも掲載されています。又、会員個々にあつては、校区コミュニティ長、自治会長自治会役員等を歴任するほか、スポーツ少年団活動支援、交通安全指導、防犯パトロール等隊友会員たるの自覚を持つて行動し、市民からの隊友会への理解を頂き信頼の醸成に務めています。最後に、田舎支部にとつての悩みは会勢の維持・拡充です。出身隊員は多いほうだと思いますが郷里に帰って定住する会



T33Aジェット練習機等を清掃する会員達

戦役者墓地清掃

桜満開の3月30日、平成25年度2回目となる鹿児島戦役者墓地清掃を実施した。鹿児島地区協議会村山会長以下21人と永吉町内会から約30人ほどの参加をいただき、80歳を超える東支部の会員も数名参加し、頭の下がる思いでした。時折桜がちらほら散る中での清掃は心が洗われる気持ちで清々しく感じている清掃でした。

清掃後、慰霊祭の準備に取り掛かり、昔取った杵柄と某支部長の適切な指示のもと整育と準備が終了した。慰霊祭には第1航空群司令、鹿児島地方協力本部長、第12普通科連隊長等の県内各部隊長並びに国会議員等が来賓として参加し、田島会長の挨拶に始まり、子供会による国旗掲揚、12普通音楽部の演奏、更には神事のほうも肅々と滞りなく終了した。その後直会が行われ、県内部隊長の参加を頂き

食事をしながらさつま琵琶の演奏に引き続き、大東亜戦争が残したものと称して顕揚会田島会長から歴史教育があった。マレーシアの独立記念日においては日本軍の歌を歌い日本軍によって国が独立できたことへの感謝の念を持つていた旨の紹介があり、広く広報すべきだと感じた。最後は、市来統括副会



全員で墓地内を清掃する様子

会員紹介

大崎支部 丸山義男

前大崎支部長で現相談役の丸山義男さんを紹介いたします。丸山さんは昭和63年9月都城駐屯地で定年を迎えられ、現在78歳。定年後は、曾於郡大崎町野方に居を構えられ、国分市(現在は霧島市国分)にある第一工業大学に就職され、技術係として17年間勤務される他県内外の高校を巡回して学生募集に協力する等、大学に対し多大の貢献をされました。

退職後は、大崎町交通安全協会大崎支部野分会長として、地域の安心・安全な町づくりに尽力されるとともに、大崎町

自らも全国大会に夫婦で9回出場されています。また、鹿屋市輝北町の「大円寺」仏教壮年会副会長として、町はもとより地域のために多大の尽力をされ、充実した日々を過ごされています。本人の弁として、第2・第3の人生を過ごしている中で、自衛隊で培った気力・体力・精神力及び物事に対する考え方・取り組み方が、どこでも役立つと自負されています。

大崎支部長 堂園隆二 記

中種子支部再編立ち上

中種子支部再編立ち上

永らく1人支部を続けてきた中種子支部でしたが、昨年3月に支部会則を制定し、4月1日有志会員10人により念願の中種子支部を正式に立ち上げることができました。本年、会員数も増えて総数16人を以て4月26日、設立1周年を記念する第1回鹿児島県隊友会中種子支部定期総会において町行政当局との災

義会長のあいさつに続き役員選任と事業計画及び予算案が全会一致で可決承認されました。特に今後の中種子支部活動方針として、地域における自衛隊活動を積極的に支援を行うとともに、戦没者慰霊祭への協力、さらには隊友会活動としての実績を積み上げて後年において町行政当局との災



中種子支部新メンバーの面々

会員紹介

樋脇支部 坂口利満

坂口利満氏は昭和8年生まれの81歳、温泉とホッケーの町樋脇支部の最年長会員です。昭和30年8月佐世保の針尾駐屯地に入隊後、北海道で9年間勤務し、昭和39年熊本へ転勤、第8師団の特科連隊勤務その後昭和60年3月退官されるまで30年間を自衛隊で過ごされました。退職後は、農業をしながら特技を活かして車の整備工場や福祉施設の送迎運転を75歳まで続けられました。その後は、農業に専念、昨年までは都会の修学旅行生の民泊受け入れをされ、田舎での生活や農業体験等学生に大変喜ばれ、また本人も若い人から元気を貰っていると話されておりました。その時、自衛隊での厳しくも楽しい経験等

も話されていたようです。我が支部行事の招魂社の草刈りには、必ず参加されボランティアで市比野神社のしめ縄飾りを作り奉納される等支部としても大変感謝しております。今後は、体に気を付けてご夫婦で大好きなグラウ



樋脇支部 坂口利満氏

盛大な総

隊友会鹿児島地区協議会喜入支部(堀奉文支部長以下13人)は、平成26年3月30日(日)にマリニピア喜入におい

て、平成25年度の締めくくりである定期総会を開催した。そもそも喜入地区の隊友会員は、鹿児島地区協議会の南支部に所属していたが、平成25年4月に喜入支部を立ち上げ、初代会長に堀氏を選任し自衛隊と市民の架け橋をモットーに地域に密着した活動を推進してきた。総会では平成25年度の事業及び決算報告に対する承認、平成26年度の事業計画及び同予算案

を討議・決定した。その後、短い時間ではあったが、懇親会に移行しお互いに杯を酌み交わしながら1年間の会活動における話題、現職時代の思い出、現在の状況(健康状態・家族・仕事・趣味等)等、諸々の話題に盛り上がりとともにカラオケで自慢の喉を披露し会員相互の親睦を更に深めた。喜入支部 事務局 松久保貞三 記



懇親会で大いに盛り上がる喜入支部の会員達

謹んでご冥福を

- ◆国分支部 下大迫 勝郎
- ◆野間口 實男
- ◆下大迫 俊雄
- ◆西田 健一
- ◆赤塚 健一

《業務内容》

- ◆叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆拝謁上京時のご案内
- ◆叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話: 099-218-4081
HP: <http://www.jokun-iino.jp>

2013 かがしき新特産品コンクール 奨励賞受賞

シラスソープシリーズ

毛穴の汚れ・黒ずみ スッキリ!!

吉田シラス (火山灰白土) 洗顔石鹸

株式会社日本衛生センター <http://www.nippon-ec.com/>

シロアリ防除・駆除、リフォームのご相談なら

日本衛生センターにお任せください。

調査・お見積りは無料!!

鹿児島県鹿児島市下電尾町25番22号
☎0120-202-208

鹿見島地本長に着任

本年三月二十六日をもって自衛隊鹿見島地方協力本部長に就任した深谷一等海佐です。



深谷克郎 鹿見島地本長

鹿見島での勤務経験としては、初任3尉時代に鹿屋航空基地で約二ヶ月実習しました。それ以来焼酎は芋派です。その他にも潜水艦でしばしば寄港しており、その都度楽しい思い出に残るこの鹿見島に地本長として勤務できることを大変嬉しく思っております。

着任以来数ヶ月が過ぎましたが、鹿見島の方々にはみな防衛省・自衛隊に対する理解が深く、私達への活動を応援していただいていることを再認識し、嬉しく感じております。どうか任期中は楽しくかつやり甲斐のある日々が過ごせそうです。

自衛隊シリーズ 3

沖永良部島分屯基地の紹介

はじめに、公益社団法人鹿児島県隊友会の皆様におかれましては、平素から自衛隊並びに沖永良部島分屯基地・第55警戒隊に対するご支援ご協力を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

入に伴う施設整備が計画的に進行中であり、当基地の象徴であったレドームは取り壊され、少し寂しい景観となっておりますが、24時間365日体制で常時警戒監視を継続し、本来任務を着実に遂行するとともに、監視体制の更なる強化のため、新型レーダー導入に向けた施設整備を計画的に推進しているところであります。

皆様方の期待に応え得る更に逞しい部隊になるため隊員一丸となつて職務に精励していく所存です。このことから暖かい目で沖永良部島分屯基地・第55警戒隊の成長を見守って頂けると光栄です。

第55警戒隊総務人事班長記

【基地等の変遷】

- ・1944(昭19) 陸軍沖永良部島守備隊(1個大隊)から1個小隊が大山地区に駐屯
- ・海軍電探部隊(1個小隊)が展開
- ・1950(昭25) 米軍通信部隊移駐
- ・1954(昭29) 米軍レーダーサイトとして運用開始
- ・1972(昭47) 第55警戒群編成完結
- ・1973(昭48) 米軍から自衛隊へ移管
- ・1979(昭54) 捜索レーダータワー完成
- ・1986(昭61) 測高レーダータワー完成
- ・1989(平元) BADGE SYSTEM運用開始
- ・2003(平15) 第55警戒群から第55警戒隊へ組織改編
- ・2010(平22) JADGE SYSTEM運用開始

【イベントのお知らせ】

○ 第22回知名町ふるさと夏祭り&大山祭

- 1 日時：H26. 7. 26(土)前夜祭
H26. 7. 27(日)本祭
H26. 8. 1(金)ヘリ体験搭乗
- 2 場所：知名町内及び
沖永良部島分屯基地
- 3 催し物等
(1) 音楽演奏 (南西航空音楽隊)
(2) 航過飛行 (戦闘機、救難ヘリ等)

節田舟こぎ大会

南西域防衛における要の一つである奄美大島北部に所在する航空自衛隊奄美大島分屯基地奄美通信隊は、厳しい任務にまい進する一方で、隊員一人一人が大切にしていることがある。それは地域との絆を深めること。周辺住民の皆様方の協力と理解あつてこそその組織である。奄美市笠利町節田地区での舟こぎ大会はその一つ。



舟こぎ大会でスタート直後の様子

舟こぎ大会というと、沖縄県で毎年開催されている那覇ハーリーを思い浮かべる方が多いと思われるが、奄美大島においては、誰もが真つ先に思いつく大会がこれだ。そのわけは二つある。この大会へは、毎年、東京の奄美出身者(奄美大島出身者で構成されている会の会員)が必ずといっていいほど参加され、中央への情報発信源になつていくこと。もう一つは、エントリの規模率でいくと乙女(地元的女性)の参加者が多いことが挙げられる。

【国分駐屯地関係行事案内】

○ 駐屯地夏祭り

- 1 日時：平成26年8月7日(木)
17:00~21:15(予定)
- 2 場所：陸自 国分駐屯地
電話:0995-46-0350(内線419)
- 3 催し物等
(1) 音楽演奏(駐屯地音楽部)
(2) その他盛り沢山の催し物を準備

○ 駐屯地創立記念行事

- 1 日時：平成26年10月12日(日)
8:30~15:00 駐屯地開放
- 2 場所：陸自 国分駐屯地
- 3 催し物等(25年度実施行事)
(1) 式典
(2) 訓練展示
(3) 装備品展示

奄美通信隊
福田幸一記

【川内駐屯地創立記念行事案内】

○ 市中行進及び市民との集い

- 1 市中行進(戦車等の車両部隊パレード)
日時等：平成26年9月6日(土)
13:30~ 国道3号線(予定)
- 2 市民との集い
日時等：平成26年9月6日(土)
18:00~ 川内文化ホール

○ 駐屯地創立記念行事

- 1 日時：平成26年9月7日(日)
8:30~15:00 駐屯地開放
- 2 場所：陸自 川内駐屯地
- 3 催し物等
(1) 式典 9:30~
(2) 訓練展示 11:25~
(3) 装備品展示 12:45~
(4) 戦車試乗 12:45~
- 問合せ先

隊員紹介

国分12普通連1中隊

第12普通科連隊第1中隊阿部3曹は、平成二十六年二月二十七日、北熊本駐屯地で実施された平成二十五年度師団武道競技会柔道競技の部で無差別級に参加し、各部隊の強豪選手が参加する中、見事に初優勝を勝ち取った。国分柔道部は、全国自衛隊柔道大会において平成二十一年度から昨年度まで五連覇を達成するなど全国的にも強豪と言われ、そのチームの中心的存在であるのが柔道部主将の阿部3曹である。



12普通連1中隊 阿部3曹

梨学院大を卒業後に自衛隊体育学校を経て鹿児島は国分の地で勤務、柔道はもちろん、訓練・生活面においても模範となる隊員として活躍中であり性格は真面目で温厚、東北人らしく忍耐力に優れた一度道着を着れば最強の柔道家となりますが、普段は面倒見の良い部下思いの優しい隊員で皆から頼りにされています。優れた人は優しさも兼ね備える

国分駐屯地
柔道部監督
川内1曹記

全国の隊友向けに造りあげた一品!!

薩摩本格焼酎 天の輝き「隊友」 隊友会本部推奨



☆そのこだわり

- 原料はすべて鹿児島産100%使用
- サツマイモは黄金千貫、麴用コメはひのひかり(直営農場で有機栽培)
- 水は吹上浜の天然地下水

お問合せ先
割引特典あり

1ロット
・720ml×12本
・1800ml×6本
の場合
送料無料!!

酒類通信販売 北薩摩本舗
FAX&TEL0996-44-5718
フリーダイヤル0120-58-7085
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2230-3

土地・借家のことなら (隊友会会員)

久保不動産

国分駐屯地正門前 お気軽にご相談下さい

〒899-4322 鹿児島県霧島市国分福島2丁目10-25